



元フリースタイルスキー・モーグル日本代表 伊藤みきさんの

「マザーレイクゴールズ広報大使」(第1号) 就任について

元フリースタイルスキー・モーグル日本代表で「しがスポーツ大使」の伊藤みきさんに、琵琶湖版のSDGs「マザーレイクゴールズ(MLGs)」の広報大使に就任いただくことになりましたので、お知らせします。

経緯

伊藤さんは、選手時代に海外を転戦している時、気候変動の影響で、世界中から年々雪が少なくなっていることに対して、何か自分に出来ることは無いか、とずっと考えていらっしました。

伊藤さんが、世界レベルで活躍された御経験を通じて環境問題に真摯に取り組まれようとしてされていることを知り、マザーレイクゴールズ推進委員会(委員長：滋賀県琵琶湖環境部長)は、新たに創設した「マザーレイクゴールズ広報大使」の第1号として、御就任いただくことを依頼し、御快諾いただきました。

マザーレイクゴールズ広報大使について

マザーレイクゴールズ(MLGs)に賛同されている著名人に、MLGsについての情報発信およびワークショップ等のMLGs推進のための事業への協力により、MLGs達成の一翼を担っていただくことを目的として、令和3年(2021年)12月に制度を創設しました。

- マザーレイクゴールズ広報大使は、マザーレイクゴールズ推進委員会が委嘱します。
- マザーレイクゴールズ広報大使は、次の活動を行います。
 - 県内外におけるMLGsについての広報活動
 - ワークショップ等のMLGs推進のための事業への協力
 - MLGs推進に向けた提言や助言

本日(2/1)の予定

- 14:10~14:20 マザーレイクゴールズ推進委員長より伊藤さんへの委嘱式
(琵琶湖環境部長室)
- 14:20~14:35 知事表敬訪問(知事室)

伊藤みきさんからのメッセージ

このたび、世界の環境を良くするために、まずは琵琶湖、それにまつわる環境を良くしていく、という明確な13のゴールがあるMLGsの広報大使をさせていただけることを大変嬉しく思いますし、活動を通して学ばせていただける機会に感謝しております。

私は、選手時代に海外を転戦する時に感じていた、世界中から年々雪が少なくなっていることに対して、何か自分に出来ることは無いか、とずっと考えていました。

気持ちよくスポーツが出来る事は、たくさんの方のサポートと、良い環境があつてのことです。

良い環境の中には、自然環境を整えることも大切だと感じます。

選手時代にスイスのツェルマット遠征で、年々氷河が小さくなっていくのを目の当たりにし、悲しい気持ちになっていました。

今回、Mother Lake Goalsの13のゴールに向かって取り組むことによって、選手時代に感じていたものが、少しずつ、より良い地球環境に繋がると信じています。

ウィンタースポーツであるモーグルは、自然の中で行う競技なので、よりシビアに環境に直結していると考えます。

私自身、幼少期の頃から、排水溝に流れていく水の行方を考えることは自然と出来ていました。

それは、滋賀県に住むことで、川と、琵琶湖の関係性を知る機会が多かったからだと思います。

今回、私が広報大使に就任させていただくことで、1人でも多くの方により多くの「実践を伴った活動」をする機会が持てるようにしていきたいです。

また、共に13のゴールに少しでも近づけるよう、活動して行こうと思っています。

次の世代に美しい琵琶湖を残すため、雪のある冬を残すため「Think Globally, Act Locally」で笑顔で取り組みます。

伊藤みき氏プロフィール

- 元フリースタイルスキー・モーグル日本代表
- 生年月日 1987年7月20日
- 出身地 滋賀県蒲生郡日野町
- 出身校 近江兄弟社高校→中京大学

日本モーグル界の元エース。

モーグル界で存在感を示す伊藤三姉妹の次女。指導者を持たず、天性の滑りで数々表彰台に立ち、14歳でナショナルチームに選出される。高校生で初出場したトリノ五輪で決勝

に進出し、ルーキーオブザイヤーを受賞。以降、ワールドカップ入賞者の常連となる。ソチ五輪前年には念願のワールドカップ初優勝、世界選手権2種目で銀メダルに輝くなどエースに成長。ソチ五輪では日本代表となるも右膝前十字靭帯損傷のため棄権。ターン・エアー・スピードの総合力の高さを武器に、平昌五輪での雪辱を目指したが、残念ながら派遣標準記録を突破できず出場は叶わなかった。2018年に入籍し、新たな環境のもと2022年北京五輪への挑戦を期待されたが、惜しまれながらも2019年5月に現役引退を表明。引退後はスキー界やスポーツ界に貢献していけるような人になりたいとコメント。次のステージへの一歩を踏み出した。

- 2001年 ◇ナショナルチーム入り（初）
- 2004年 ◇ワールドカップ出場（初）
- 2005年 ◇世界選手権出場（初）
- 2006年 ◇トリノオリンピック出場
◇中京大学入学
- 2010年 ◇バンクーバーオリンピック出場
◇北野建設入社
- 2014年 ◇ソチオリンピック日本代表
◇右膝前十字靭帯損傷（2月）
- 2015年 ◇戦線復帰（12月）
- 2019年 ◇現役引退（5月）
- 2021年 ◇しがスポーツ大使に就任
- 2022年 ◇マザーレイクゴールズ広報大使に就任

【参考】マザーレイクゴールズ推進委員会

滋賀県琵琶湖環境部長	石河 康久（委員長）
京都大学生態学研究センター長	中野 伸一
滋賀県立大学環境科学部教授	井手 慎司
滋賀県立大学地域共生センター講師	上田 洋平
株式会社日吉 総務部総務課課長代理	西村 亜智
しがローカルSDGs研究会事務局長	辻 博子
株式会社ユーストン代表取締役	川本 勇